

2025年度 カナデビア 全社 安全衛生管理方針

安全衛生スローガン：相互注意で危険ゼロ 築こうKanadeviaの「安全文化」

管理基本方針

①「重大災害を根絶する」という強い意志を持ち、安全管理活動のPDCAを確実に実施し、協力会社とともに展開し、安全文化を醸成する。

②安全最優先を徹底させ、みんなが健康で安全で快適に働ける心の通った職場を目指す。

管理目標（KPI）：

- ①安全管理：重大災害・休業災害ゼロ
全災害度数率 3.0（過去5年間平均の30%減）
：交通災害（通勤時、業務時）ゼロ
- ②衛生管理：職業性疾病ゼロ

取組方針 1：

経営・職制トップ・管理監督者が、現場・職場において安全最優先の意識・行動を率先垂範する（トップダウンのフェルトリーダーシップ）

- ・職制から目線を合わせて共に考えるコミュニケーションを推進
- ・職制が率先して安全対話を実施する

取組方針 2：

三大災害および繰り返し災害を根絶する

- ・「墜落転落」「挟まれ巻込まれ」「飛来落下」の三大災害防止対策の完全実施
- ・「激突」「切れこすれ」の繰り返し災害防止の対策強化
- ・増加する交通災害への対策を実施

取組方針 3：

「不安全状態」「不安全行動」を排除するといった、現場や職場における作業開始から完了までの安全ルール遵守を徹底する

取組方針 4：

「安全認知・判断力」向上の安全教育を実施する

取組方針 5：

リスクアセスメントを徹底し、危険源を排除する

取組方針 6：

職業性疾病の予防のために労働衛生環境を改善する

カナデビアのフェルトリーダーシップとは？

カナデビアの安全文化の基盤となる考え方及び行動として、フェルトリーダーシップ（Felt leadership／感じてもらうリーダーシップ）に取り組みます。

安全文化は、トップダウンで醸成していきます。経営・組織の幹部・リーダーが、「災害ゼロ」の信念を持ち、「全ての事業活動の場において、安全最優先を徹底する」ことの実践から始まります。

まずは経営・組織の幹部・リーダーとして、事業本部長、BU長、工場長がともに、全社安全衛生管理方針の取り組み指針に対して、BU・工場、それぞれの安全衛生管理方針を策定していく際に、「自組織の安全とは何か」「何に取り組むべきことなのか」を考え、「自部門の安全最優先の先取り組み事項はこれだ」と、お互いに認識して決めてください。幹部・リーダーは、「安全最優先事項」として決めたことを、日々の行動、対話により示す、フェルトリーダーシップを実践してください。また、各職制リーダーがフェルトリーダーシップを発揮できるよう支援してください。

幹部・リーダーは、安全・品質・コスト・納期の中で重要なのは、「安全が最優先」と常に言えることです。幹部・リーダーの日々の行動、対話から、職員の皆さんは、求められる「安全最優先」を理解し、組織・職制に信頼と安心を感じて、自らも安全を考え、安全最優先の行動を実践していきます。

私たちが目指す「相互啓発型組織のカナデビア安全文化」とは、全役職員一人ひとりが、リーダーとして安全最優先を実践するフェルトリーダーシップを発揮し続けていることです。